

「第1回国際遊びの日」におけるアピール

2024年5月31日

「子どもの権利条約31条のひろば」実行委員会

地下壕に紙飛行機や子らの春（ウクライナの俳人：ウラジスラバ・シモノバ作）。

戦火のウクライナで、パレスチナのガザ地区で、焦土と化した瓦礫の中でも、子どもたちは遊んでいます。遊びは、子どもたちの命そのものだからです。世界中の子どもたちが、青空のもと、平和で安全な大地で、のびのびと遊べるようにしたいと切に願います。

2024年6月11日は、第1回国際遊びの日です。

2024年3月25日、国連総会は全会一致で6月11日を国際遊びの日（International Day of Play）として決めました。

私たち「子どもの権利条約31条のひろば」は、この決定を心から喜び、6月11日を、日本でも世界でも、子どもの休息・自由時間、遊び・レクリエーション、文化的生活・芸術への参加の権利（子どもの権利条約31条）を広げ定着させ実現していくための大事な日として歓迎します。

「遊びが世界をより良くする（Play Makes A Better World）」と題した国連のホームページでは初めての「国際遊びの日」は、すべての人々、特に子どもたちがその恩恵を享受し、潜在能力を最大限に発揮して成長できるよう、遊びを保護し、促進し、優先させる取り組みにおける重要なマイルストーンとなる。

国連子どもの権利条約は、第31条において、遊びをすべての子どもの基本的権利として明記している。

この国際デーは、世界、国、地域レベルで、遊びの重要性を訴える統一的な場となる。と呼びかけています。

<https://www.un.org/en/observances/international-day-of-play>

私たちはコロナ禍の2020年から毎年9月に「子どもの権利条約31条のひろば」を開き、子どもの遊びを真ん中においている子どもの権利条約31条への理解を広げ普及と実現を目指してきました。2020年9月27日の「31条のひろば」において、以下のような《31条ムーブメント宣言》を決定しました。

《子どもの文化権（31条）》は「子ども時代」を豊かにするための基盤です。

コロナ禍の中でも、豊かな「子ども時代」を実現しましょう。

1. 勝ち負けばかり考えていると子どもの時間がうばわれる！
2. 子どもは休まないといわれる。何もしない時間もだいじ！
3. 遊びは子どもの主食です！
4. 文化・芸術はいのちと育ちの活力源です！
5. 日本社会に《子どもの文化権（31条）》の確立を！
6. 国連審査に私たちの声を届けます！

◎毎年9月の最終日曜日を「子どもの権利条約31条のひろば」の日とします。

「子どもの権利条約 31 条のひろば」に取り組む私たちは、国際遊びの日を心から歓迎し、日本でも世界でも子どもの権利条約 31 条の権利を実現し、子どもたちが平和で安全で安心な地球環境の下で、自由に遊びを満喫できる世界になることを強く呼びかけます。